

膝関節前方の痛みに

パテラプロによる動的なアライメント調整

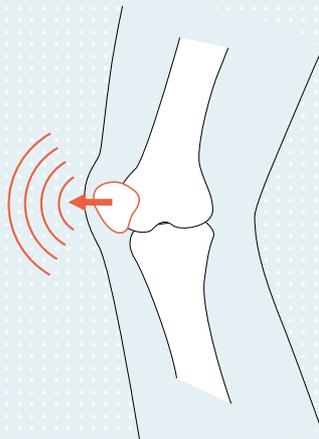
膝蓋大腿関節の動きが正常に整えられると、軟部組織の炎症が改善されて膝前部痛の軽減につながります。

パテラプロは、膝蓋骨のトラッキング不良が起こるリスクの高い屈曲角度10 - 30度において、膝蓋骨が正しくトラッキングするように内側へテンションをかけて調整します。

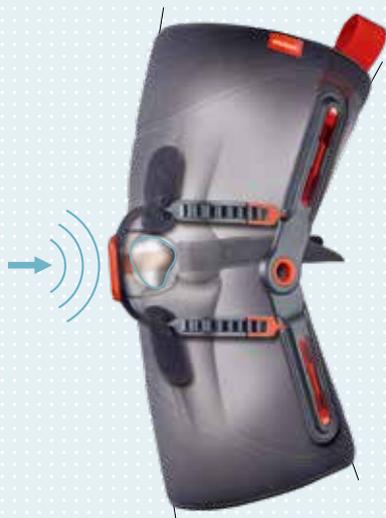
屈曲角度が30度より大きくなると、膝蓋骨は大腿骨の顆間溝と筋肉によって支えられてトラッキングされるので、内側調整する必要はありません。この時、パテラプロは過剰なテンションをかけず膝蓋骨の傾斜も防ぎます。

屈曲10-30度

- ▶ 高リスク
膝蓋骨のトラッキング不良
(外側へ偏位)

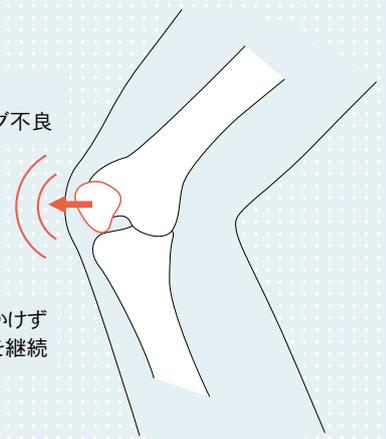


- ▶ パテラプロによる膝蓋骨の
正常なトラッキング



屈曲30度以上

- ▶ 低リスク
膝蓋骨のトラッキング不良



- ▶ 過剰なテンションをかけず
最適なトラッキングを継続



研究によって確認された効果

膝蓋骨の内側調整

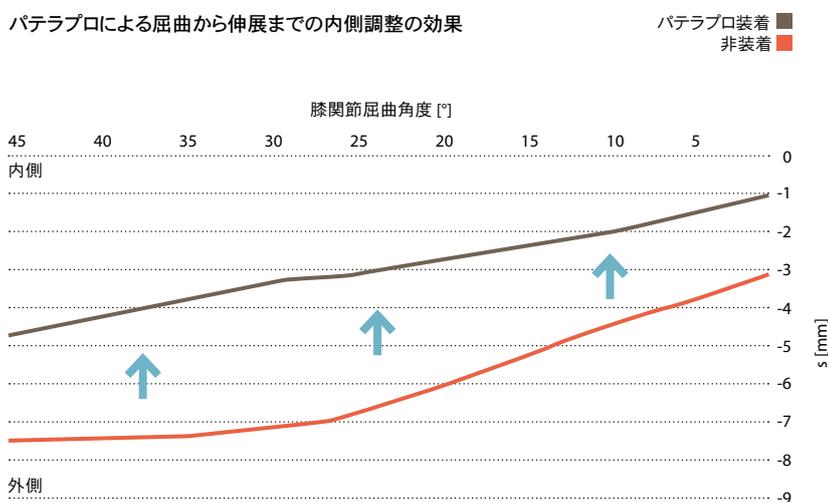
これまでの研究で、パテラプロの効果を検証されました。

ケルンのドイツスポーツ大学で行われた屍体研究では、膝蓋骨のアライメント調整の生体力学的機能について、「膝関節の全可動域において膝蓋骨が内側へ調整されている」ことが証明されました。

7人の患者による研究においても、装具なしのグループおよび他の装具グループと比較して、膝蓋骨の内側調整の明確な差異が認められました。

内側調整の効果	パテラプロ	他製品	サポーター
立位	■	■	
屈曲運動	■		■
伸展運動	■	■	

パテラプロによる屈曲から伸展までの内側調整の効果



不安定な膝蓋骨とPFPS患者に対して、パテラプロを使用したコントロール群と対照群とを比較したところ、膝蓋骨の内側調整について有意差を認めました。
($p < 0.05$)

Prof. G.P. Brüggemann, Cologne

¹ G.P. Brüggemann et al: Patella-Re-Zentrierungs-Orthese Patella Pro. [Patella Pro: Patella Re-alignment Orthosis] Biomechanical Evaluation: ex vivo and in vivo; in: Orthetik-Spezial Knie, oetobock, Duderstadt, 2011.

² Source: ISPO World Congress/Orthopädie + Reha-Technik 2010 · Speaker: Prof. Gert Peter Brüggemann, Institute of Biomechanics and Orthopaedics, German Sports University · Patella kinematics controlled by a new knee orthosis – in vivo study of the Patella Pro orthosis

お問い合わせ先

- ・本カタログは医師または義肢装具士などの医療従事者向けです。
- ・予告なく製品の仕様やデザインが変更になることがあります。
- ・カタログの写真と実際の製品とは、色などに違いがある場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本カタログの内容は2024年11月現在のものです。